

疑似体験教材 5 「電子メール」

1. 対象 小学校高学年
2. 指導目標 電子メールの利用にはコンピュータウイルスの危険性があることを知らせると共に、ウイルスに感染しないように自己防衛しようとする態度を育てる。
3. 授業展開

段階	学習活動	留意点
導入	コンピュータウイルスについて知っていることについて話し合う。	見聞きしたことや思っているイメージなど自由に出させる。
展開	<p>○疑似体験 疑似体験教材 5 「電子メール」で、ネットワーク利用を疑似体験する。</p> <p>○課題提起 1 コンピュータウイルスに感染した場合、コンピュータがどうなってしまうと思いますか。</p> <p>○課題提起 2 ウイルスに感染しないようにするには、どんなことに気をつけたらいいでしょうか。</p> <p>○解説 解説ページを参照し、添付メールの問題点を再確認する。</p>	<p>自分たちにも起こりうることであることを認識させる。</p> <p>コンピュータの動作がおかしくなるとはどのようなことかを考えさせる。</p> <p>3通のメールのうち、ウイルスが付いているメールと他のメールとの違いを考えさせる。</p> <p>コンピュータウイルスの発病例についても簡単に触れるようにする。</p>
整理	<p>○自分たちの取るべき態度について、全体で話し合う。</p> <p>○ワークシートに授業の感想を書き、本時の学習をまとめる。</p>	自分のコンピュータが感染することでまわりの人に迷惑をかけたくないとする感想も引き出したい。